



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局	配布日時	令和元年6月12日 14時00分
資料配布		

件名	道路に関する社会実験を公募します。 ～公募受付 6/12～7/12～
----	---------------------------------------

概要	<p>●概要 道路局では、現地での社会実験を通じて、制度や道路構造の見直し等の検討を行っており、これまで、直接埋設方式による電線地中化の常設作業帯のコンパクト化に関する実証実験、奈良公園周辺の渋滞緩和に向けた社会実験を実施しています。 今年度も地方公共団体に対し、道路に関する社会実験を公募します。</p> <p>●受付期間 令和元年6月12日（水）～令和元年7月12日（金）</p> <p>●申請者 <u>実験を実施しようとする地方公共団体</u> （複数の地方公共団体にまたがって実施しようとする場合は、代表となる地方公共団体）</p> <p>●提出先 近畿地方整備局 道路部 道路計画第二課 連絡先 06-6945-7420（直通） ※実験内容や申請等に関する事前相談、問い合わせを随時受け付けております。</p> <p>●公募要領、公募申請書（様式）は以下のホームページからダウンロードできます。 <a href="http://www.mlit.go.jp/road/demopro/public_offering/offer.html">http://www.mlit.go.jp/road/demopro/public_offering/offer.html</a></p>
----	--

取扱い	_____
-----	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
------	--------------------

問合せ先	近畿地方整備局 道路部 道路計画第二課 課長 今西 秀樹（いまにし ひでき） 課長補佐 松岡 康雄（まつおか やすお） 電話 06-6942-1141（代表） 06-6945-7420（直通）
------	---

# 道路に関する新たな取り組みの 現地実証実験（社会実験）を公募します

## 現地実証実験とは

社会的に影響を与える可能性のある道路施策の導入に先立って、関係行政機関、地域住民等の参加のもと、場所や期間を限定して当該施策を試行・評価する社会実験のことです。

## 1. 申請者

実験を実施しようとする地方公共団体とします。

なお、複数の地方公共団体にまたがって実施しようとする場合の申請者は、代表となる地方公共団体とします。

## 2. 公募書類受付期間

令和元年6月12日(水)～令和元年7月12日(金)

## 3. 公募要件

募集する実験は、別紙1に示す社会資本整備審議会道路分科会建議の内容と関係があるものであり、下記の①②のいずれかを満たす必要があります。

なお、別紙2に示す道路局で別途実施している社会実験に関する実験については本募集においては、採択しない予定です。

- ①現地での社会実験を通じて効果の検証、課題の抽出、制度設計の見直し、事例の積み重ね等を行うことにより、道路の構造、占用等に関する法令、基準、通達、事務連絡等の見直し(運用に関する場合を含む)に結びつく可能性があるもの。
- ②現地での社会実験を通じて新規施策の導入・実施に結びつき、全国的に周知・推奨すべき取り組みとなる可能性があるもの。

## 4. 公募タイプ

### ①実行可能性調査(FS\*)タイプ

現地実証実験の実施にあたり事前の実行可能性調査を行うもの。(※Feasibility Study)

### ②現地実証実験タイプ(単年度)

場所や期間を限定して当該施策を試行する単年度の現地実証実験を伴うもの。

### ③現地実証実験タイプ(複数年度)

場所や期間を限定して当該施策を試行する複数年度の実験を伴うもの。

複数年度にわたって現地実証実験を行うものや、1年目に計画・調整、2年目に現地実証実験を行うもの。

## 5. 応募方法

公募要領、公募申請書(様式)を以下のホームページからダウンロードし、提出して下さい。

国土交通省ホームページURL [http://www.mlit.go.jp/road/demopro/public\\_offering/offer.html](http://www.mlit.go.jp/road/demopro/public_offering/offer.html)

**提出先・問合せ先** 近畿地方整備局 道路部 道路計画第二課 (TEL 06-6945-7420)

## ○社会資本整備審議会道路分科会建議

### 1. メンテナンスのセカンドステージへ

- (1) 予防保全を前提としたメンテナンスの計画的な実施
- (2) 過積載撲滅に向けた取組の強化
- (3) 適正な予算等の確保
- (4) 新技術の導入等による長寿命化・コスト縮減
- (5) 集約化・撤去による管理施設数の削減
- (6) 地方への国による技術支援の充実

### 2. 総合的な交通安全対策の実施

- (1) 生活道路の交通安全対策
- (2) 自転車利用環境の整備
- (3) 踏切対策の推進
- (4) 高速道路の安全・安心に係る賢い取組
- (5) ユニバーサルデザイン化の推進

### 3. 災害に強い安全性・信頼性の高い道路へ

- (1) 大規模災害への対応
- (2) 集中豪雨や大雪への対策強化
- (3) 無電柱化の推進
- (4) 占用物件の適切な維持管理

### 4. 円滑なモビリティの確保のために

- (1) ICTやAI等をフル活用した交通マネジメント強化
- (2) 交通流を最適化する料金・課金施策の導入
- (3) 大規模商業施設等の対策の強化
- (4) トラック・バスなど道路利用者との連携強化

### 5. 戦略的な人と物の流れの確保

- (1) 平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保
- (2) 高速道路の幹線物流プラットフォームの構築
- (3) トラック輸送のイノベーションの促進
- (4) ラストマイルの人と物の流れの確保

### 6. モーダルコネク(交通モード間連携)の強化

- (1) 交通・物流拠点とネットワークのアクセス強化
- (2) バスタプロジェクトの推進
- (3) 主要鉄道駅など広域交通拠点の利便性向上
- (4) モード間の情報接続の強化とシェアリングとの連携

### 7. 地域における産学民官の新たな連携へ

- (1) 官民連携による都市空間の再編
- (2) 道路のストック効果を高めるための地域・民間との連携
- (3) 道の駅や高速道路の休憩施設等の活用促進
- (4) すべての人にわかりやすい道案内の実現
- (5) ICT・ビッグデータを利活用した地域道路経済戦略の推進

### 8. ニーズに応じた道路空間の利活用

- (1) 道路空間の利活用の更なる高度化
- (2) 多様なニーズに対応した道路空間の再構築
- (3) 民間団体等との連携による価値・魅力の向上

### 9. 「観光先進国」の実現に向けて

- (1) 観光地への円滑なアクセスの実現
- (2) 安全で快適な観光地の形成
- (3) 旅行者にわかりやすい道案内の推進

詳細は以下URLを参照

<http://www.mlit.go.jp/common/001201778.pdf>

○道路局で別途実施している社会実験

・ダブル連結トラック実験

([http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000804.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000804.html))

・中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス

(<http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/automated-driving-FOT/index.html>)

・ICT・AIを活用したエリア観光渋滞対策の実験・実装

([http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000887.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000887.html))

・「ETC2.0車両運行管理支援サービス」に関する社会実験

([http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000618.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000618.html))

・ETC2.0高速バスロケシステム実証実験

([http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000961.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000961.html))

・訪日外国人観光客レンタカーピンポイント事故対策

([http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000920.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000920.html))

・高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」

([http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000894.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000894.html))

・道路空間を活用したカーシェアリング社会実験

([http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000953.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000953.html))

・道の駅を活用した再配達削減に関する社会実験

([http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000755.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000755.html))

・高速バス&カーシェアリング社会実験

([http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000766.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000766.html))

・無電柱化に伴う路上変圧器を活用した「防災・観光デジタルサイネージ」の実証実験

([http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_001104.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001104.html))

・圏央道を活用した高速バス乗り換え社会実験

([http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_001121.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001121.html))

※括弧書きは実験内容が分かるホームページアドレスを示しています。